

◆まちづくり審議会及び都市計画審議会での答申に対する所管の見解

資料41
令和4年度第7回逗子市総合計画審議会
2022年（令和4年）12月22日

○：意見を反映し（案）を修正するもの □：意見の趣旨や考え方が既に（案）に盛り込まれているもの

▲：意見を反映することが困難なため（案）どおりとしたもの ■：今後の参考意見とするもの

No.	審議会名	体系	ページ	意見等	対応区分	所管の見解
87	都市計画審議会	実施計画 第3節-1 具体的施策① 取り組み①	4	「各ゾーンの自然を生かした工夫に取り組む」と記載があるが、各ゾーンが何を示すのか定義の記載がなく分かりづらい。	○	「各ゾーン」を「各回廊」に修正します。
88	まちづくり審議会	実施計画 第3節-1 具体的施策②	5	原文を全面的に削除となっているが、以下のように文章を修正し、残していただきたい。 《現況・課題》 地球温暖化対策や災害時に近隣住民等の命を守ることに もつながる、市街地における緑地の回復が求められている。 多様な命の源となる逗子の緑の山は、スギ、ヒノキ植林と里 山（雑木林）、土地本来の自然植生の常緑広葉樹の森（い のちの森）である。それらの森を健全な状態への再生と保護 が求められている。 《取り組み》 ○市民が利用しやすい市街地の緑化推進事業へと見直し を進める。 今までの事業が間違っ て見直すと記入したのか？ 何がおかしかったのか？ 質問です、 ○市民の参加などにより…… 以下に修正 ○市民の参加などによる自然植生をめざした森の再生や里 山の活用、維持管理を行っていくことを図る。 市民参加の森づくりは機会があれば取り組んでいきたいと いう意味で上記文に修正した。 逗子の植生の特徴や健全な森の再生といった主旨が抜け てしまっているように見える。「みどりの質的な向上」はまさに この部分にあると考えられるため、具体的な記述は残した方 がよいと考える。	○	意見を反映し、以下のとおり修正します。 《現況・課題》 地球温暖化の進行や大規模災害、局所的豪雨の頻 発、ヒートアイランド現象の顕在化等の問題についての 対応等、持続可能な都市づくりへの取り組みが求めら れている。 また、多様な命の源となる逗子の緑の山は、スギ、ヒノ キ植林と里山（雑木林）、土地本来の自然植生の常緑 広葉樹の森（いのちの森）であり、それらの森を健全な 状態へ再生することや保護が求められている。 《取り組み》 ・市民が利用しやすい市街地の緑化推進事業へと見 直しを進める。 ・市民の参加などによる自然植生をめざした森の再生 や里山の活用、維持管理を推進する。 《質問》市民が利用しやすい市街地の緑化推進事業へ と見直しを進める。今までの事業が間違っ て見直すと記入したのか？ 何がおかしかったのか？ 《回答》 ・前期実施計画にも記載されている文言であり、今回の 見直しで修正したものではない。 ・平成 27 年度以降、利用者がなかった壁面緑化補 助金を廃止して生垣やシンボルツリーに対する助成を 強化するなど、見直しを進めている。

No.	審議会名	体系	ページ	意見等	対応 区分	所管の見解
89	都市計画審議会	実施計画 第4節-3 具体的施策① 取り組み②	19	「公共交通を利用促進、シェアサイクル・カーシェアリングの検討など、自家用車に頼らずとも生活できる環境づくりに向けた、効率的な自動車利用を推進する。」とあるが公共交通機関が充実してくれないと、現状対応が難しいと思うので実情にあった記載にするべき。また、効率的な自動車利用という表現が抽象的であるため具体的に記載するべき。	○	“効率的な自動車利用”とは、カーシェアリングが例として挙げられますが、ご指摘のとおり伝わりづらい文章となっているため、「自家用車に頼らずとも生活できる環境づくりに向けた、効率的な自動車利用を推進する」を、「自家用車に頼らずとも生活できる環境づくりに取り組む」に修正します。
90	都市計画審議会	実施計画 第4節-3 具体的施策① 取り組み②	19	地域主体によるコミュニティバスと書いてある、地域主体とは具体的に誰のことか。	○	中期実施計画の主な取り組みにつきまして、総合計画審議会においても同様のご指摘があり、事業説明を次のように修正します。 『・コミュニティバス等の持続可能な地域交通の導入に向け、交通を地域のくらしと一体として捉え、市と地域が協働して行う取組を推進する。』 (補足説明)コミュニティバスなどの地域交通の導入には、地域にお住いの皆さまの主体的な関わりが重要であることから、「地域主体による…」という表現を用いたものです。